



6・9署名宣伝行動、大山駅にて

核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止2009年世界大会を成功させよう

板橋区労連議長 広瀬 憲義

「核兵器のない世界」の実現に向けて、いま新しい大きな流れが生まれています。

オバマ米国大統領は、「核兵器のない世界」を追求することを明らかにして、「核兵器を使つた唯一の核大国として米国には行動する道義的責任がある」と述べました。ロシアのメドベージェフ大統領は、核軍縮問題で「大きな期待」があるとの認識を表明しました。

5月に開かれたNPT再検討会議準備会でも、どの政府代表もオバマ演説を歓迎し、来年の会議の議題を合意しました。核兵器保有5カ国は、これを歓迎し、「核軍縮に努力するという永続的で明確な約束を再確認する」と表明しました。会議を傍聴した日本原水協は、「オバマが起こした大きな変化を感じた」と報告しています。

北朝鮮の暴走を止めるためにも「核兵器のない世界」こそ重要です。しかし、麻生首相は、「核軍縮と不拡散の強化」を述べるだけで、核の傘の維持を米国に求めています。こうした日本政府への働きかけも強めなければなりません。

6月9日、原爆症認定集団訴訟で未認定だった原告9人を新たに原爆症と認定した東京高裁判決について、政府が上告断念を表明しました。東京高裁の判決は、肝機能障害や甲状腺機能低下症など認定基準外の疾病も原爆症と認定していました。原爆症認定問題をめぐるたたかいは、18連勝を重ね、政府を大きく追い込んできました。病に苦しみながら、被爆の実態を明らかに、すべての労働組合と諸団体に取り組みを

かにし、国の原爆被害矮小化の誤りを明らかにし、被爆国日本政府の「核の傘」への固執を許さず、核兵器のない平和な世界の実現につながる運動です。今度こそ、原告全員の救済、認定基準の再見直しを実現し、集団訴訟の一括解決を勝ち取りましょう。

また、憲法を守りいかす活動と結合し、来年5月に開催されるNPT再検討会議に向けて提起された新国際署名「核兵器のない世界を」すべての労働組合と諸団体が旺盛に取り組みましょう。

国民平和行進と8月の原水爆禁止世界大会を成功させるために、すべての労働組合と諸団体に取り組みを要請します。

強化と積極的な関わりを要請します。



6・9署名宣伝行動、大山駅にて

板橋平和行進

日時 7月21日(火) 12時30分

場所 板橋区立見次公園

* 集会終了後、デモ行進

(終点:北区中央公園)

核も基地もない世界と日本を!

皆さんと一緒に一歩でも二歩でも歩きましょう!



コミュニティーユニオン東京問題学習会

日時 6月22日(月) 午後6時30分

場所 グリーンホール402会議室

講師 平山 和雄さん(東京地評副議長)

テーマ 「コミュニティーユニオン東京とは何か?」

*すべての組合から参加をお願いします。

主催・連絡先/板橋区労連 (3964)9351



月探査衛星「かぐや」が送ってきた地球の写真を見ました。筋状の白い模様をもつて青く輝いているその美しい姿にしばし見入ってしまった。

そんな地球上ではいま、ほんの一握りのエゴイストたちが我欲を剥き出しにした利権争奪戦やらの醜い争いを繰り広げ、その影でよりの危険に晒されています。一方的に戦争をしかける大国の軍事的支配、遣伝子組み替え特許による農作物の支配、パブルと不況を演出する投機マネーの氾濫、そして自由主義の名のもとに大量に創出される貧困層……。

青く美しい地球を見ていて、その優美な姿に相應しい国際社会に、これから一歩づつでも変えていかなければ、という思いに駆られました。

ところで、役目を終えて月面に投棄された産廃「かぐや」は、いつかは回収されるのでしょうか。それを私は心配しています。

(JMIU東京ビジョン支部 菊田 耕策)

くらしと仕事を 守れ!

6・24板橋怒りの総行動／ちようちんデモ

一人でも多くの
参加を呼びかけます

世界同時不況の中で、大企業による「派遣・非正規切り」が一方的におこなわれ、多くの労働者が職を失い、住まいを追われています。厚生労働省の調査ですら、6月までに20万7千人が首を切られるとされています。企業業績の悪化が明らかになる中で、正規労働者にも解雇や一時帰休、賃金カットなど、リストラ「合理化」の嵐が吹き荒れています。また、中小零細企業や個人事業主の多くが、「仕事の激減」「低いレベルを超える単価の押しつけ」「企業努力も限界」「会社を止めたくても

止めることもできない」という状況に陥っています。こうした中で政府・与党が、「新経済対策」としてとった対策は、一回限りそれも消費税増税とセットの「給付金」や、殆どが大型公共事業にむけられた財界・大企業のためのものです。この一年、都議会では都民生活に多大な不利益・悪影響を与える条例などが成立しています。老人医療センターと老人総合研究所を廃止しての独立行政法人への移行や都立豊島病院の公社化での医療分野で都の公的責任放棄、清瀬、八王子の小児病

院と梅ヶ丘病院の廃止。新たに新銀行東京の救済に道を開く金融支援条例(300億円の予算措置)、言論表現の自由を侵す安全・安心まちづくり条例の改定などです。さらに、「30人学級」など少人数学級に移行してないのは東京都だけ、石原都政誕生以来一戸も立っていない都営住宅など、都民イジメは際立っています。

7月3日告示、12日投票の都議会議員選挙は、都民イジメの都政から都民本位の都政に変えるチャンスです。また、総選挙の前哨戦として全国から注目を集める選挙でもあります。要求で都議選を職場・地域で大いに語り、新しい都政をつくるために奮闘が求められています。こうした状況の下、板橋大運動実行委員会は、本年3度目となる「くらしと仕事を守れ6・24板橋怒りの地域総行動／怒りのちようちんデモ」を実施します。



6・24板橋怒りの総行動／ちようちんデモ実施要綱

日時 6月24日(水) 午後1時集合
場所 土建板橋支部(あ-ちぶらざ)5F

内容
学習会 13時～「都政をもぐる情勢の特徴について」
講師 前澤 淑子氏(東京社保協事務局長)
宣伝行動 14時～16時 (ハンドマイク・宣伝カー)
対区交渉 15時～16時(集合 区役所ロビー14:45)
参加 各団体の代表

ちようちんデモ 18時30分～
集合場所 高島平駅前・緑地公園(旧松坂屋前)



ホッとコーナー

マス釣り・バーベキュー大会

5月30日(土)相模原市の早戸川国際マス釣り場で、グリーンキャ



雨にも負けず、たくさん釣れたかな?

ブ労組本部全支部による文化部主催のマス釣り・バーベキュー大会が開催されました。当日は、7支部、本部合わせて109名の参加となり、前年を大きく上回る参加者で大変な盛り上がりとなりました。当日の天候は、前日からの雨が残っており現地に着いてからの釣りも危ぶまれましたが、到着する頃には雨も上がり、無事に開催することができました。気温も少し涼しく感じられるくらい。現地に着いてから、早速釣り糸を垂れる者、或いは早速肉や焼きそばとビール、とそれぞれの楽しみ方で大いに盛り上がりました。普段の生活の中で、炭で肉や釣った魚を焼いて食べたりすることもありませんし、ましてや携帯電話が圏外の場所での生活することも少なくなってきた中で、今回の催しはとても新鮮に感じられました。多くの参加者と何事もなく無事に今回のマス釣り・バーベキュー大会が行われ



やっぱり、バーベキューは焼きそばだよ!

たことに板橋支部が幹事として感謝します。(グリーンキャブ労組 板橋支部 長崎 正仁)

板橋区労連 ビアパーティー



大好評!
今年も
菊田茂伸トリオ
が出演します!

日時 7月24日(金)午後6時30分開会
会場 板橋グリーンホール1階ホール
会費 1,000円
恒例のお楽しみ抽選会もあります